

(作成年月日) 2024年3月11日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

### [研究課題名]

全骨盤回転型強度変調放射線治療において電子ポータル画像装置を用いた in vivo dosimetry の解析方法の検討

### [研究の目的]

近年、強度変調放射線(IMRT: intensity Modulated Radiation Therapy)や回転型強度変調放射線治療(VMAT: Volumetric Modulated Arc Therapy)といった高精度放射線治療の普及に伴って、急峻な線量分布や線量増加をした治療計画が主流となっており毎回の治療精度を評価することの線量検証が重要となってきています。とくに治療中の体内臓器位置変動、患者体動、標的腫瘍縮小による治療精度評価するため、患者体内透過ビームを取得する in vivo dosimetry が注目されています。本研究の目的は電子ポータル画像装置 (EPID: Electronic Portal Imaging Devices) を用いた in vivo dosimetry の解析方法には2D解析と3D解析があり、全骨盤回転型強度変調放射線を施行している患者さんに対して用いた際、解析結果に違いが生じるか検討します。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

全骨盤部に対する強度変調放射線治療を、令和4年5月16日から令和6年2月29日の間に受けられた方

#### ○利用する検体・情報

検体：全骨盤部に強度変調放射線治療をした患者さんの Plan

### [研究組織]

香川大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師 北岡幹教

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部 医療技術部 放射線部門 北岡幹教

電話 087-891-2291 (直通)